

(理)科(生物)シラバス		3 単位	普通科 第2 学年 1・2・3・4 組 選択者
年間の到達目標		細胞の構造と働き、生殖と発生のおもしろみや器官形成、遺伝の法則やさまざまな遺伝現象を学習し、生命の連続性についての見方を習得する。 外界からの刺激の受容から反応にいたるまでの一連の過程、内部環境とその恒常性、内部環境の調節機構について学習し、環境動物の反応の間にみられるおもしろみを理解する。	
教科書・副教材等		改訂新生物(第一学習社)・スクエア最新図説生物(第一学習社)・生物 標準ノート(第一学習社)	
学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	第1章 細胞 1. 細胞の働きと構造	生物体と細胞を学習し理解する。 核・細胞質の働きと構造を学習し理解する。
	5	2. 細胞への物質の出入り 3. 細胞の増殖	細胞への水の浸透を学習し理解する。 細胞への物質の透過を学習し理解する。 体細胞分裂を学習し理解する。 細胞の分化と組織の形成を学習し理解する。
	中間考査範囲 第1章 細胞 1. 細胞の働きと構造 2. 細胞への物質の出入り 3. 細胞の増殖		
	6	第2章 生殖と発生 1. 生物のふえ方 2. 被子植物の受精と発生 3. 動物の生殖と発生	生殖の方法を学習し理解する。 減数分裂を学習し理解する。 重複受精を学習し理解する。 ウニの発生を学習し理解する。 カエルの発生を学習し理解する。
	7	4. 発生のしくみ	胚の予定運命を学習し理解する。 形成体の働きを学習し理解する。
	期末考査範囲 第2章 生殖と発生 1. 生物のふえ方 2. 被子植物の受精と発生 3. 動物の生殖と発生 4. 発生のしくみ 〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を中間考査・期末考査によって学期成績のおよそ80%を評価します。		
2	9	第3章 遺伝 1. 遺伝の法則	メンデルの研究を学習し理解する。 一遺伝子雑種を学習し理解する。 二遺伝子雑種を学習し理解する。
	10	2. 遺伝子と染色体	不完全優性と複対立遺伝子を学習し理解する。 遺伝子相互の働きあいを学習し理解する。
	中間考査範囲 第3章 1. 遺伝の法則 2. 遺伝子と染色体		
	11	第4章 環境と動物の反応 1. 刺激の受容	刺激の受容と感覚を学習し理解する。 眼と耳の構造と働きを学習し理解する。 神経系の構造とニューロンの働きを学習し理解する。
	12	2. 神経系 3. 動物の反応	中枢神経系の働きを学習し理解する。 効果器の働きと刺激に対する一定の行動を学習し理解する。 動物の行動の発現を学習し理解する。
期末考査範囲 第4章 環境と動物の反応 1. 刺激の受容 2. 神経系 3. 動物の反応 〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を中間考査・期末考査によって学期成績のおよそ80%を評価します。			
3	1	第5章 内部環境とその恒常性 1. 内部環境としての体液	体液とその働きを学習し理解する。 体液の循環と浸透圧を学習し理解する。
	2	2. 恒常性の維持	自律神経とホルモンの働きあいによる調節を学習し理解する。
	3	第6章 環境と植物の反応 1. 環境と植物 2. 植物の反応と調節	光合成と環境要因について学習し理解する。 植物ホルモンについて学習し理解する。
	学年末考査範囲 第5章 内部環境とその恒常性 1. 内部環境としての体液 2. 恒常性の維持 第6章 環境と植物の反応 1. 環境と植物 〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を学年末考査によって学期成績のおよそ80%を評価します。		
評価の観点	内 容		評 価 方 法
関心・意欲・態度 (5) %	生命現象に関心をもっている。 生命現象を探究する意欲を示している。 生命現象を探究する学習態度を示している。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。
思考・判断 (5) %	さまざまな生命現象を観察して疑問や不思議さを感じる。 さまざまな生命現象を実証的・論理的に考える。 さまざまな生命現象を分析的・総合的に考察する。 さまざまな生命現象を事実に基づいて科学的に判断できる。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。 一部は定期考査で評価をします。
観察・実験の技能・表現 (10) %	観察・実験・実習の技能を習得している。 観察・実験・実習を通して科学的に探究する方法を身につけている。 観察・実験・実習の過程・結果・結論を表現している。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。 一部は定期考査で評価をします。
知識・理解 (80) %	生物・生命現象について基本的な概念や原理・法則を理解している。 生物・生命現象について基本的な知識を身につけている。		おもに定期考査で評価をします。 一部は授業中の小テストや発表内容で評価をします。
〔担当者からのメッセージ〕 授業において忘れ物をしない、遅刻をしない、欠席をしないこと。提出物は期限を守って完成させて提出すること。 よく復習をして定期考査に臨むこと。必ず、生物 標準ノート(第一学習社)をやってくる。			

方、
境と

植物